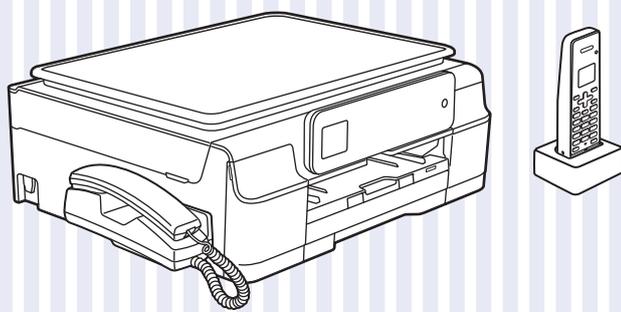


PRIVIO

MFC-J720D/J720DW

ユーザーズガイド －応用編－



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？
と思ったときなどは、以下の手順で原因を
お調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 「こんなときは」で調べる



2

サポート ブラザー

検索



ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
<http://solutions.brother.co.jp/>

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル

▶ <https://myportal.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章

お好みで設定する

第2章

ファクス

第3章

電話帳

第4章

転送・リモコン機能

第5章

コピー

第6章

デジカメプリント

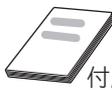
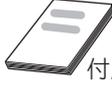
第7章

付録（索引）

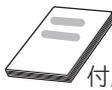
マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	 付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属

■用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	 付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	 付属 CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた ⇒ ユーザーズガイド基本編「CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	

■サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

 画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3～5のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	 サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
--	--

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
<http://solutions.brother.co.jp/>

目次

マニュアルの構成	2
目次	3
本書の見かた	4
編集ならびに出版における通告	4
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくこと をお勧めします	4

第1章 お好みで設定する 5

お好みで設定してください

画面の設定を変更する	6
画面設定を変更する	6
子機の画面設定を変更する	6
ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する	7

第2章 ファクス 9

応用

ファクスの便利な送りかた	10
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	10
相手先の受信音を確認してから送る	11
話をしてから送る	12
複数の相手先に同じ原稿を送る	13
原稿をすぐに送る	15
海外へ送る	16
ファクスの便利な受けかた	17
自動的に縮小して受ける	17
ファクスを転送する	18
受信したファクスをパソコンに送る (Windows®のみ)	19

通信管理

通信状態を確認する	20
通信管理レポートを印刷する	20
送信結果レポートを印刷する	21
着信履歴リストを印刷する	22

第3章 電話帳 23

電話帳

電話帳を利用する	24
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	24
グループダイヤルに登録する	25
子機の電話帳を利用する	27
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	27
子機の電話帳を親機へ転送する	27

リモートセットアップ

パソコンを使って電話帳に登録する	28
------------------------	----

第4章 転送・リモコン機能 29

リモコンアクセス

外出先から本製品を操作する	30
暗証番号を設定する	30
外出先から本製品を操作する	30

転送機能

外出先に転送する	33
留守録転送を設定する	33

第5章 コピー 35

応用

いろいろなコピー	36
スタック/ソートコピーする	36
レイアウトコピーする	37
インクを節約してコピーする	40
コピー時の裏写りを抑える	40
ブックコピーする	41
原稿の地色を除去してコピーする	41

第6章 デジカメプリント 43

デジカメプリント

写真や動画をプリントする	44
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の 画像をまとめてプリントする	44
インデックスシートをプリントする	45
インデックスシートの写真の番号を指定して プリントする	46
証明写真プリントをする	47

第7章 付録 49

用語解説	50
索引	52

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っているとお利便なことや、補足を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J720D、MFC-J720DW を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J720D のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2013 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。<http://solutions.brother.co.jp/>ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

第 1 章

お好みで設定する

お好みで設定してください

画面の設定を変更する	6
画面設定を変更する	6
子機の画面設定を変更する	6
ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する	7

画面の設定を変更する

お好みで設定してください

本製品の画面の設定を変更します。

画面設定を変更する

- 1  を押す
- 2 【基本設定】、【画面の設定】を順に押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- 3 変更したい項目を選ぶ
 - 【画面の明るさ】
画面の明るさを調整します。
 - 【照明ダウンタイマー】
画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなくても画面の表示は確認できます。)
- 4 目的の設定を選ぶ
 - 画面の明るさ
【明るく / 標準 / 暗く】から選びます。
 - 照明ダウンタイマー
【切 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒】から選びます。

- 5  を押して設定を終了する

画面の表示言語を「英語」に変更する

画面の表示言語を英語に切り替えることができます。

- (1) 、【初期設定】、【表示言語設定】、【英語】の順に押す
◆キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- (2)  を押して設定を終了する

子機の画面設定を変更する

- 1  を押す
- 2  で【画面コントラスト】を選び、 を押す
- 3  で好みのコントラストを選び、 を押す
- 4  を押して設定を終了する

ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 を押す

2 【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
相手が通信中でも、3回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

4 を押して設定を終了する

Memo

第2章

ファクス

応用	通信管理
ファクスの便利な送りかた 10	通信状態を確かめる 20
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る 10	通信管理レポートを印刷する 20
相手先の受信音を確認してから送る 11	通信記録をすぐに確認したいとき 20
話をしてから送る 12	出力間隔を変更する 20
複数の相手先に同じ原稿を送る 13	送信結果レポートを印刷する 21
原稿をすぐに送る 15	すぐに印刷する 21
海外へ送る 16	印刷するタイミングと内容を設定する 21
ファクスの便利な受けかた 17	着信履歴リストを印刷する 22
自動的に縮小して受ける 17	
ファクスを転送する 18	
受信したファクスをパソコンに送る (Windows®のみ) 19	

ファクスの便利な送りかた

応用

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

 ナンバー・ディスプレイ機能をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【履歴】を押す

4 または を押して、 発信履歴または着信履歴を切り替える

5 ファクスを送る相手先を選ぶ

6 【ファクス送信】を押す

 ファクスをカラーで送信する場合は、【設定変更】からカラー設定を行ってください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

7 【スタート】を押す

- モノクロで送信する場合：原稿読み取り後、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ（送信）】と表示されます。次の原稿がある場合は、【はい】を押して原稿をセットし、【OK】を押します。すべての原稿を読み取るまでこの手順を繰り返します。
- カラー送信に設定した場合：【カラーファクスを1枚のみ送信します 複数枚送信のときは【キャンセル】を選び設定変更からカラー送信の設定をモノクロにしてください／カラー送信／キャンセル】と表示されます。

8 モノクロ送信のときは【いいえ（送信）】、カラー送信の場合は【カラー送信】を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

- (1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 ②～④ の操作を行う
 - (2) 削除する相手先を選ぶ
 - (3) 【設定】を押す
 - (4) 【消去】を押す
◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
 - (5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。
 - (6)  を押す
- ※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

相手先の受信音を確認してから送る

【手動送信】

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

 「手動送信」では、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【オンフック】または操作パネル上の を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、【スタート】を押す

画面に【ファクスしますか？ / 送信 / 受信】と表示されます。

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

- (1) 【送信中】表示中に  を押す
◆【キャンセル / はい / いいえ】と表示されます。
- (2) 【はい】を押す
◆ファクスの送信が中止されます。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

話をしてから送る

【手動送信】

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

- 📞 「手動送信」では、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。
- 📞 ファクス送信後に通話に戻ることはできません。

1 相手先に電話をかける

⇒ユーザーズガイド 基本編「電話をかける」

2 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクス機で、受信操作をしてもらう

相手先のファクスが応答すると、「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

3 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

4 【スタート】を押す

画面に【ファクスしますか？ / 送信 / 受信】と表示されます。

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

6 受話器を受話器台に戻す

送るのをやめるときは

- (1) 【送信中】表示中に  を押す
◆【キャンセル / はい / いいえ】と表示されます。
- (2) 【はい】を押す
◆ファクスの送信が中止されます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

【同報送信】

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、最大200箇所まで指定できます。

お願い

■ 同報送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

🔒 同報送信と組み合わせることができない設定項目はキーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【設定変更】を押す

4 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 【電話帳から選択】を押す

6 電話帳から相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

🔒 グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒25ページ「グループダイヤルを登録する」

7 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

8 もう一度、【OK】を押す

9 【スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ（送信）】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 11 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

11 【いいえ（送信）】を押す

すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

送るのをやめるときは

(1) ダイヤル中または送信中に を押す

◆【同報送信をキャンセルします 現在のあて先のみか 全ての送信先かを選択してください / XXX (現在の番号または電話帳に登録してある名前) / 全ての同報送信】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号 (または名前) が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、 を押します。

(3) 【はい】 を押す

すべての同報送信を中止した場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号 (または名前) が表示されます。続けて中止する場合は (1) ~ (3) を繰り返します。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

 同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。

 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。

 原稿読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、 を押して送信を中止するか、【OK】を押して読み取られた分だけを送ります。

原稿をすぐに送る

【リアルタイム送信】

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。

メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。

ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。

⇒ユーザーズガイド 基本編「変更した設定を保持する」

-  リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。複数の相手先に1回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
-  ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
-  リアルタイム送信では、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【設定変更】を押す

4 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

- 【する】：
リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
通常の送信で送ります。

 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてファクスするには」

6 【OK】を押す

7 相手のファクス番号をダイヤルする

8 【スタート】を押す

 本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

海外へ送る

[海外送信モード]

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。

海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

お願い

■ 海外送信モードではカラー原稿は1枚しか送れません。原稿が複数枚あるときはモノクロで送信してください。カラーで送る必要がある場合は1枚ずつ送信してください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

モノクロで送る場合

6 【カラー設定】を押す

7 【モノクロ】を押す

 お買い上げ時の設定値である【モノクロ】を変更していない場合は、手順 **6**、**7** のカラー設定を行う必要はありません。

 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定します。

8 【OK】を押す

9 相手先のファクス番号をダイヤルする

10 【スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？/はい/いいえ（送信）】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 **12** へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 **11** へ

11 【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 **12** に進みます。

12 【いいえ（送信）】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

カラーで送る場合

6 【カラー設定】を押す

7 【カラー】を押す

 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定します。

8 【OK】を押す

9 相手先のファクス番号をダイヤルする

10 【スタート】を押す

画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します 複数枚送信のときは【キャンセル】を選び設定変更からカラー送信の設定をモノクロにしてください/カラー送信/キャンセル】と表示されます。

11 【カラー送信】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

【自動縮小】

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【する】を押す

- 【する】：
自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されません。
- 【しない】：
自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

4 を押して設定を終了する

 自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のまま複数枚の記録紙に分割して印刷します。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

ファクスを転送する

[ファクス転送]

受信したファクスを別のファクス機に転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

-  【ファクス転送】 の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
-  【ファクス転送】 を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
-  【ファクス転送】 は、【メモリ保持のみ】、【PC ファクス受信】 と同時に設定できません。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【ファクス転送】 を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 転送先のファクス番号を入力し、【OK】 を押す

-  すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は  を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

4 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 を押して設定を終了する

-  転送先のファクス機が通話中のときは、自動的に5分おきに3回まで再ダイヤルされます。
-  ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る (Windows® のみ)

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

お願い

- カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- [PC ファクス受信] は、[ファクス転送]、[メモリ保持のみ] と同時に設定できません。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

4 を押して設定を終了する

-  パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」
-  手順 3 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
-  手順 3 で【本体でも印刷する】を設定しておく、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きて、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

【通信管理レポート】

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。通信管理レポートは、モノクロで印刷されます。

 A4 より小さなサイズの記録紙は使用できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

- 1 **記録紙を記録紙トレイにセットする**
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

- 2  を押す

- 3 **【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す**

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

- 4 **【スタート】を押す**

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

- 5 印刷が終了したら、 を押す

出力間隔を変更する

- 1  を押す

- 2 **【ファクス / 電話】、【レポート設定】、【通信管理レポート】を順に押す**

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

- 3 **印刷間隔を選ぶ**

【レポート出力しない / 50 件ごと / 6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと / 7 日ごと】から選びます。

A) 【レポート出力しない / 50 件ごと】を選んだ場合

- (1)  を押す
◆通信管理レポートが設定されます。

B) 【6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと】を選んだ場合

- (1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す
- (2)  を押す
◆通信管理レポートが設定されます。

C) 【7 日ごと】を選んだ場合

- (1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す
- (2) 曜日を選ぶ
- (3)  を押す
◆通信管理レポートが設定されます。

 通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

【送信結果レポート】

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの1ページ目が印刷されるように設定されています。送信結果レポートは、モノクロで印刷されます。

 A4より小さなサイズの記録紙は使用できません。

すぐに印刷する

1 記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

4 【スタート】を押す

送信レポートが印刷されます。

5 印刷が終了したら、 を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

3 設定を選ぶ

- 【オン】：
ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン+イメージ】：
ファクス送信後に、毎回結果レポートと1ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ+イメージ】：
送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

 リアルタイム送信 (⇒ 15 ページ「原稿をすぐに送る」) の場合は、画像は印刷されません。

 カラーで送信した場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

4 を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

【着信履歴リスト】

着信履歴を印刷します。着信履歴リストは、モノクロで印刷されます。

 A4 より小さなサイズの記録紙は使用できません。

1 記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

4 【スタート】を押す

着信履歴リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、 を押す

第3章

電話帳

電話帳

電話帳を利用する	24
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	24
グループダイヤルに登録する	25
子機の電話帳を利用する	27
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	27
子機の電話帳を親機へ転送する	27

リモートセットアップ

パソコンを使って電話帳に登録する	28
------------------------	----

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。

⇒ 22 ページ「着信履歴リストを印刷する」

- 📎 ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 📎 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1  を押す

2 【履歴】を押す

📎 履歴は最新の 30 件が記録されています。

3  または  を押して、
発信履歴または着信履歴を切り替える

4 電話帳に登録したい番号を選ぶ

5 【設定】を押す

6 【電話帳に登録】を押す

7 画面に表示されているキーボードで
登録したい相手先の名前を入力し、
【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

8 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する



読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

- 読みがなを編集する場合⇒手順 9 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒【OK】を押し、手順 10 へ

9 画面に表示されているキーボードで編集し、【OK】を押す

10 番号が入力されていることを確認して、【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているキーボードで変更して【OK】を押します。

必要に応じてこの相手先の 2 つ目の番号も登録できます。番号を入力し、【OK】を押します。

2 つ目を登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

11 表示された短縮番号を確認して【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているキーボードで変更して【OK】を押します。

12 登録内容を確認し、【OK】を押す

13  を押して登録を終了する

グループダイヤルを登録する

【グループ登録】

電話帳に登録した複数の相手先を、1つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒13ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときを使用します。グループは、6つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも1件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

お願い

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すこととなります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳リストを印刷する」

1  を押す

2 【電話帳】を押す

、、【ファクス/電話】、【電話帳/短縮設定】の順に押しても登録できます。⇒手順 5へ

3 【あいうえお順検索】または【番号順検索】を押す

4 【設定】を押す

5 【グループ登録】を押す

キーが表示されていないときは、/を押して画面を送ります。

グループ名を入力する画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す

名前は10文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」

7 表示されたグループ番号を確認して【OK】を押す

8 グループに登録する相手先を選んでチェックマーク(1)を付ける



   を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。

  のときは五十音順に、

  のときは短縮番号順に並べ替えられます。

9 登録する番号をすべて選び終わったら、【OK】を押す

10 登録内容を確認し、【OK】を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

11  を押して登録を終了する

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

デジカメプリント

録付

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

- (1) 「グループダイヤルに登録する」(25ページ)の手順⑤で、【変更】を押す
- (2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ
- (3) 【変更】を押す
- (4) 追加/削除する相手先を選び、【OK】を押す
追加したい相手を押してチェックマークを付けます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。
- (5) 【OK】を押す
◆変更内容が反映されます。
- (6)  を押す

グループダイヤルを削除するには

- (1) 「グループダイヤルに登録する」(25ページ)の手順⑤で、【消去】を押す
- (2) 削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
【消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- (3) 【はい】を押す
- (4)  を押す

子機の電話帳を利用する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

 ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。

- 1  を押す
- 2  で【発信履歴】または【着信履歴】を選び、 を押す
- 3  で登録する番号を選び、 を押す
- 4  で【電話帳登録】を選び、 を押す
- 5 名前を入力し、 を押す
名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」 - 「子機」
名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)
- 6 自動入力された読みがなが、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、 を押す
- 7 登録したい番号が表示されていることを確認し、 を押す
電話番号が登録されます。
- 8  を押して登録を終了する

 発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、 を押す必要はありません。

子機の電話帳を親機へ転送する

- 1  を押す
- 2  で親機に転送する相手先を選び、 を押す
- 3  で【転送】を選び、 を押す
電話帳が転送されます。
- 4 転送されたことを確認し、 を押す

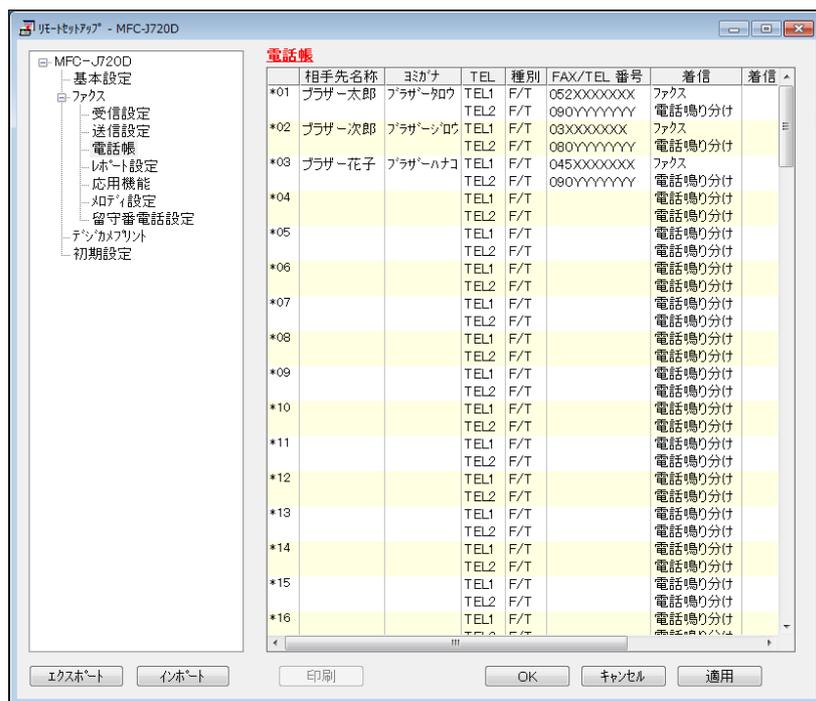
-  短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。
-  以下の場合、電話帳を転送できません。
 - 外線使用中
 - 親子内線通話中、呼び出し中
 - 親機の電源がオフになっている場合
 - 親機で音声設定中
 - 親機の電話帳が最大件数登録済みの場合
 - 親機でメニューを操作中
 - 子機の画面に【親機使用中】または【子機 X 使用中】*1 が表示されている場合

*1 子機が複数台ある場合。X には子機の番号が入ります。

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録/編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド パソコン活用編」をご覧ください。

リモートセットアップ画面例



お願い

- 「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録/編集できるのは、親機の電話帳のみです。子機の電話帳には登録できません。子機の電話帳に登録する場合は、転送機能をご利用ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「親機の電話帳を子機へ転送する」

- 🔗 パソコンで [リモートセットアップ] を起動すると、本製品の現在の状態が反映された設定画面が表示されます。現在の設定内容をパソコンに保存するには、そのまま画面左下の [エクスポート] をクリックします。保存する内容を選び、名前を付けて指定された形式でファイルを作成します。本製品を初期化しても、再度 [リモートセットアップ] を起動して、このファイルを [インポート] すると、保存した内容を本製品に戻すことができます。

第4章

転送・リモコン機能

リモコンアクセス

外出先から本製品を操作する	30
暗証番号を設定する	30
外出先から本製品を操作する	30
リモコンコード	32

転送機能

外出先に転送する	33
留守録転送を設定する	33

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメモプリント

付録

外出先から本製品を操作する

リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

【暗証番号】

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3桁の数字または記号と*）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

お願い

- 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 暗証番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【*】、【#】で、頭の3桁を設定します。4桁目は強制的に「*」が付きます。

暗証番号「123 *」の場合は、【1】、【2】、【3】を押し、【OK】を押します。

-  暗証番号の4桁目の「*」は変更できません。

4 を押して設定を終了する

暗証番号をリセットするには

- (1) 「暗証番号を設定する」（30ページ）の手順③で【×】を押す
- (2) 【OK】を押す
◆暗証番号が削除されます。
- (3)  を押して設定を終了する

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

お願い

- リモコンアクセスをするときは、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒30ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。リモコンアクセスをする / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

-  電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

-  携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

-  在宅モードで呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約100秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2 「#」、「*」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾*を含む4桁）を入力する

暗証番号を受け付けると、「ピー」と鳴ったあと、メッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 「ポーポー」：
音声メッセージが記憶されています。
- 「ポーポーポー」：
ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

⇒ 32 ページ「リモコンコード」

例) 録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

 「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「リモコンアクセスカード」

5 終了するときには「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が1回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
設定		
951	【メモリ受信】を【オフ】にする（ファクス転送の設定も解除されます） ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する（転送先の番号が登録されていないときは設定できません）	
954	ファクス転送先を設定する	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を2回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	【メモリ受信】を有効にする（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を2回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

 外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスをメモリーで受信する」

外出先に転送する

転送機能

留守録転送を設定する

[留守録転送]

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送できます。

お願い

- 留守モードのときのみ転送できます。外出時には、 留守 を押して、留守モードに切り替えてください。
- 転送先で留守録を聞くときは暗証番号の入力が必要になります。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒ 30 ページ「暗証番号を設定する」

-  通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
-  NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
-  転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【留守録転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【する】を押す

-  暗証番号が設定されていないときは、【暗証番号を登録してください】と表示されます。 を押していったん留守録転送設定を中止し、暗証番号を設定してください。
⇒ 30 ページ「暗証番号を設定する」

-  転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。
電話番号を変更する場合は、 を長押しして入力済みの番号をいったん消します。⇒手順 4 へ
電話番号を変更しない場合は、【OK】を押します。⇒手順 5 へ

4 転送先の電話番号を入力し、【OK】を押す

5 を押して設定を終了する

転送先で確認する

- (1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力する
- (2) メッセージを聞く
 - ◆ 2 件以上あるときは連続して再生されます。
 - ◆ 再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

- (1) 「留守録転送を設定する」(33 ページ)の手順 3 で【しない】を押す
- (2)  を押して設定を終了する
 - ◆ 留守録転送が解除されます。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

デジカメプリント

録付

Memo

第5章

コピー

応用

いろいろなコピー	36
スタック/ソートコピーする	36
レイアウトコピーする	37
2枚または4枚の原稿を1枚のA4記録紙に並べて コピーする (N in 1 コピー)	37
カードの両面を1枚のA4記録紙にコピーする (IDカードコピー)	38
1枚の原稿を複数枚のA4記録紙に分けて拡大する (ポスターコピー)	39
インクを節約してコピーする	40
コピー時の裏写りを抑える	40
ブックコピーする	41
原稿の地色を除去してコピーする	41

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

いろいろなコピー

応用

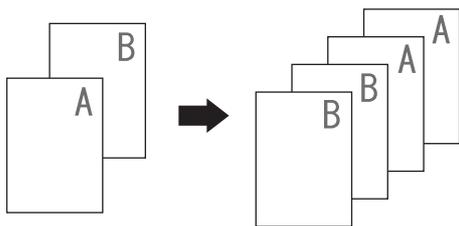
スタック / ソートコピーする

【スタック / ソート コピー】

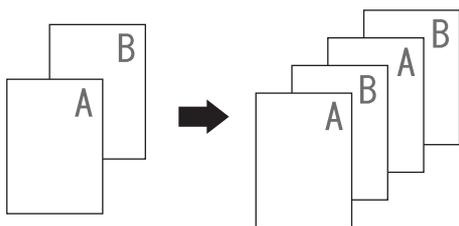
複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

🔗 スタック / ソートコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

- 🔗 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。
- 🔗 99部まで設定できます。100部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

4 【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート コピー】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押して原稿をセットし、【OK】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

- 🔗 原稿の読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画面にメッセージが表示されたときは」
- 🔗 メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。
- 🔗 スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は1部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

【レイアウトコピー】

複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- レイアウトコピーで使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- レイアウトコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

- 2in1 (タテ長)



- 2in1 (ヨコ長)



- 2in1 (ID カード)



- 4in1 (タテ長)



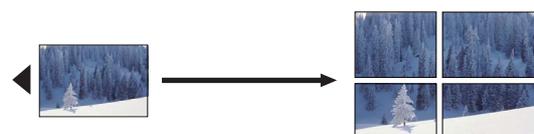
- 4in1 (ヨコ長)



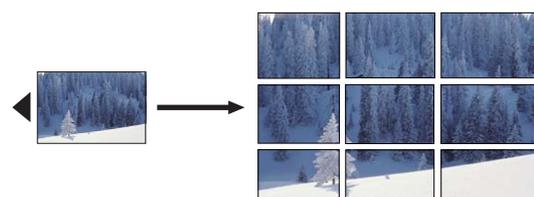
- ポスター (2 x 1)



- ポスター (2 x 2)



- ポスター (3 x 3)



2枚または4枚の原稿を1枚のA4記録紙に並べてコピーする (N in 1 コピー)

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】 を押す

5 【レイアウト コピー】 を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 レイアウトを選び、【OK】 を押す

【2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長)】 から選びます。

 コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

7 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

原稿の読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す

次の原稿を読み取り、コピーが開始されます。画面には【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- 次の原稿がない場合⇒手順 9 へ

9 【いいえ】を押す

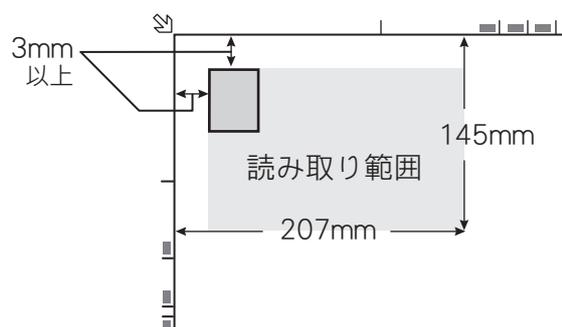
カードの両面を 1 枚の A4 記録紙にコピーする (ID カードコピー)

運転免許証のようなカードの両面を 1 枚の A4 記録紙片面に原寸のまま割り付けてコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【2in1 (ID カード)】を選び、【OK】押す

7 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

原稿の読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿を裏返してセットし、【OK】を押す

おもて面と上下をそろえ、だいたい同じ位置で裏返すと、きれいに仕上がります。

1 枚の原稿を複数枚の A4 記録紙に分けて拡大する（ポスターコピー）

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の A4 記録紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。

1 分割される枚数以上の記録紙がセットされていることを確認する

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 レイアウトを選び、【OK】を押す

【ポスター (2 x 1) / ポスター (2 x 2) / ポスター (3 x 3)】から選びます。

7 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

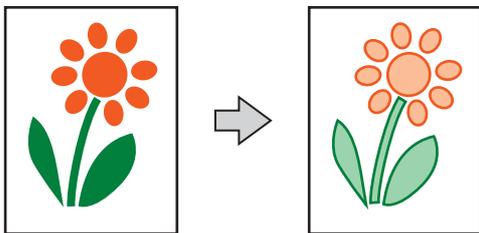
デジカメプリント

付録

インクを節約してコピーする

【インク節約モード】

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



- ④ 「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc.の技術を使用しています。



- ④ 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- ④ インク節約モードでのコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

- ④ 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

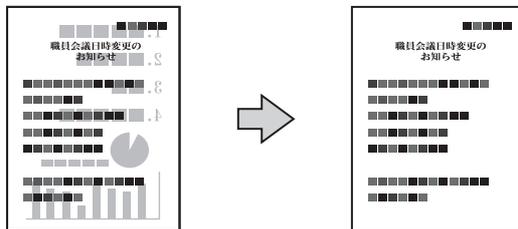
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

コピー時の裏写りを抑える

【裏写り除去コピー】

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



- ④ 「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc.の技術を使用しています。



- ④ 裏写り除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

- ④ 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

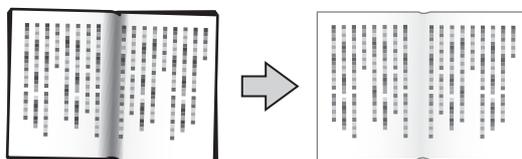
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

ブックコピーする

【ブックコピー】

原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするとき、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。



- 「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



- ブックコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

- 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】 を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す

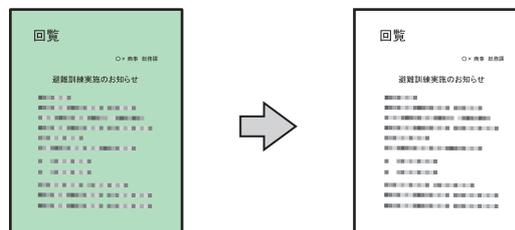
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

原稿の地色を除去してコピーする

【地色除去コピー】

カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするとき、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



- 地色除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 を押す

3 【+】 / 【-】 で部数を入力する

- 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】 を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押し

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 設定値を選び、【OK】を押す

【弱 / 中 / 強】から選びます。

7 【カラースタート】を押す

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

Memo

第 6 章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真や動画をプリントする	44
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 画像をまとめてプリントする	44
インデックスシートをプリントする	45
インデックスシートの写真の番号を指定して プリントする	46
証明写真プリントをする	47

写真や動画をプリントする

デジカメプリント

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

【すべてプリント】

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 「記録紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

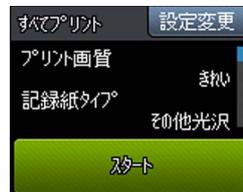
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り、 を押ししてください。

デジカメプリントメニューが表示されません。

4 【すべてプリント】 を押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 画面で設定を確認する



 画面右上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

6 【スタート】 を押す

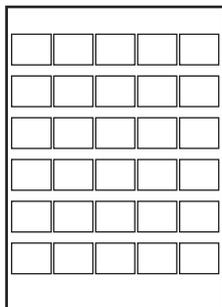
画像がプリントされます。

インデックスシートをプリントする

【インデックスプリント】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。

A4サイズの記録紙1ページ内に最大30個の画像がプリントされます。



1 記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り、 を押ししてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

4 【インデックスプリント】、【インデックスシート】の順に押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

-  画面右上の【設定変更】を押すと、記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

5 【スタート】を押す



インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

-  デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字8文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。
-  インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
-  プリントされるのはJPEG（.JPG）、およびMotionJPEGのAVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。
-  インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする

【番号指定プリント】

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 「記録紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

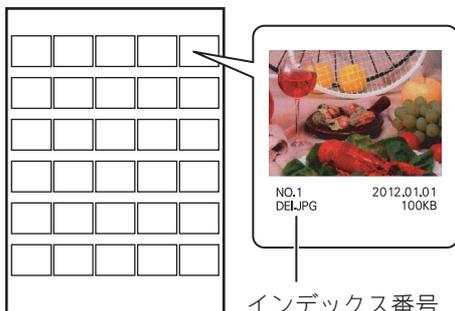
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り、 を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されません。

4 【インデックスプリント】、【番号指定プリント】の順に押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 プリントしたい画像の番号を入力し、【OK】を押す



インデックス番号

例 1 : 1 ~ 5 番をプリントしたいとき

「1-5」と入力する

例 2 : 1、3、5 番をプリントしたいとき

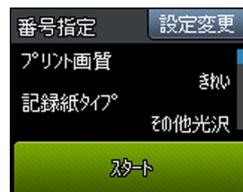
「1,3,5」と入力する

 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

6 もう一度【OK】を押す



7 画面で設定を確認する



 画面右上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

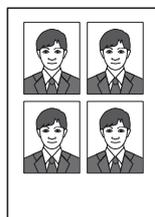
8 【スタート】を押す

指定した番号の画像がプリントされます。

証明写真プリントをする

【証明写真プリント】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーから画像を選び、履歴書やパスポートなどで必要とされる証明写真サイズにプリントすることができます。選べるサイズは4種類あり、1枚につき同じ画像4枚が割り付けられます。



お願い

■ 証明写真プリントとトリミングを同時に行うことはできません。不要な部分は、パソコンやデジタルカメラなどであらかじめトリミングしてください。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
- L判記録紙は、スライドトレイにセットしてください。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り、 を押してください。

4 【証明写真プリント】を押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。



5 表示された1枚目の画像を押す

6 / で画面を送り、プリントしたい画像を表示させる

  /  を長押しすると画面を早送りすることができます。

7 画面を押してプリントする画像を決定し、必要に応じて で画像の向きを変更する

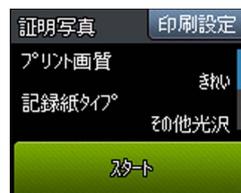
8 【OK】を押す

9 1枚あたりのサイズを選ぶ

[30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm] から選びます。

 L判またははがきサイズの記録紙にプリントする場合のみ、【50x50mm】を選ぶと、1枚（1x1）割り付けとなります。

10 画面で設定を確認する



 記録紙のサイズや種類などの設定を変更するときは、画面右上の【印刷設定】を押します。設定変更をしない場合は、自動的に以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L判

11 【スタート】を押す

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・リモコン機能

コピー

デジカメプリント

録付

Memo

第7章

付録

用語解説	50
索引	52

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

用語解説

=あ=

- **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。
- **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。
- **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うもの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
Windows®などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。
- **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

=か=

- **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。
- **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

=さ=

- **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。
- **スプリッター**
ADSL環境で必要な機器の1つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

=た=

- **ターミナルアダプター**
ISDN回線で必要な機器の1つです。パソコンや電話機をISDN回線に接続するために必要な信号の変換を行います。
- **タスクバー**
Windows®の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。
- **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。
- **デュアルアクセス**
1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

=な=

● ナンバー・ディスプレイ

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。(有料)

=は=

● ファクス転送

受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● プリンタードライバー

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● ポスターコピー

1枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

=ま=

● メモリー送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー受信

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● メモリー代行受信

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

=ら=

● リアルタイム送信

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン (ログイン)

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

=数字=

● 2in1

2枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン (Cyan)、マゼンタ (Magenta)、イエロー (Yellow)、黒 (Black) によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑 (RGB) による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青 (シアン)、赤紫 (マゼンタ)、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ (,) を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP (インターネット・プロトコル) 技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System (オペレーティングシステム) の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX (構内交換機)

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer (パーソナルコンピュータ) の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス) の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard (vcf 形式)

電子メールで個人情報やり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されません。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 で標準サポートされています。

お好みで設定する

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

コピー

デジカメプリント

付録

索引

数字

2in1 コピー	37
4in1 コピー	37

I

ID カードコピー	38
-----------------	----

P

PC ファクス受信	19
-----------------	----

あ

明るさ (画面)	6
暗証番号	30

い

いろいろなコピー	36
インク節約モード	40
インデックスプリント	45

う

裏写り除去コピー	40
----------------	----

か

海外送信	16
外出先からの操作	30
外出先に転送	33
画面の設定	6
画面の設定 (子機)	6

く

グループダイヤル	25
----------------	----

し

自動縮小受信	17
写真をプリントする	44
手動送信	11, 12
証明写真プリント	47
照明ダウンタイマー	6

す

スタックコピー	36
すべてプリント	44

そ

送信結果レポート	21
送信のキャンセル	11, 12, 14
ソートコピー	36

た

ダウンタイマー (照明)	6
--------------------	---

ち

着信履歴から電話帳に登録	24
着信履歴から電話帳に登録 (子機)	27
着信履歴からファクスを送る	10

つ

通信管理レポート	20
通話後ファクス	12

て

デジカメプリント	44
転送	18, 19, 33
電話帳	24
電話帳転送	27
電話帳 (子機)	27

と

同報送信	13
同報送信のキャンセル	14

は

パソコンで電話帳に登録	28
発信履歴から電話帳に登録	24
発信履歴から電話帳に登録 (子機)	27
発信履歴からファクスを送る	10
番号指定プリント	46

ふ

ファクス転送	18, 19
ブックコピー	41

ほ

ボイスワープ	33
ポスターコピー	37

め	
メモリー受信	18, 19
よ	
用語解説	50
り	
リアルタイム送信	15
リモートセットアップ	28
リモコンアクセス	30
リモコンコード	32
る	
留守録転送	33
れ	
レイアウトコピー	37

brother